



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0011225

エコアクション21

# 環境経営レポート

令和元年度

(対象期間：令和元年7月～令和2年6月)



令和2年9月1日

福岡道路 株式会社

## 目 次

1.組織の概要	.....	P-1
2.認証・登録の対象範囲	.....	P-1
3.環境経営方針	.....	P-2
4.環境経営目標	.....	P-3
5.環境経営計画に基づき実施した取組内容	.....	P-4
6.取組状況の確認及び評価		
6-1.環境経営目標の実績・取組結果とその評価	..	P-6
6-2.環境経営計画の実績・取組結果とその評価	..	P-7
6-3.次年度の環境経営目標及び環境経営計画	...	P-9
7.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	.....	P-10
8.代表者による全体評価	.....	P-10

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 福岡道路 株式会社  
代表者氏名 洞 孝道
- (2) 所在地 本社 〒812-0054 福岡市東区馬出1-1-19  
TEL：092-651-1036 FAX：092-260-7699  
福岡事務所 〒812-0054 福岡市東区馬出3-14-5  
TEL：092-651-9590 FAX：092-651-9595
- (3) 環境管理責任者 部長：井福 健児  
連絡先 TEL：092-651-9590 FAX：092-651-9595  
E-mail：kifuku@fukuokadouro.co.jp
- (4) 事業内容 福岡県知事許可（特-28）第37018号  
土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業  
塗装工事業 造園工事業 水道施設工事業  
解体工事業
- (5) 事業の規模 創業：1967年（昭和42年）3月1日  
設立：1973年（昭和48年）9月3日  
資本金：30百万円  
売上額：1,191百万円（令和元年7月1日～令和2年6月30日）
- |      | 単位 | 本社 | 福岡事務所 |
|------|----|----|-------|
| 従業員  | 人  | 5  | 13    |
| 延床面積 | m2 | 40 | 199   |
- (6) 事業年度 7月～翌年6月

## 2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動

- (1) 対象事業所 本社  
福岡事務所
- (2) 対象活動 上記の事業内容

### 3.環境経営方針

## 環 境 経 営 方 針

#### 【基本理念】

福岡道路株式会社は、建設業の活動を通じて、又企業の社会的責任として、地球環境との調和・共生を目指し、法令遵守のもと会社一丸となり、環境保全に継続的に取組みます。

#### 【行動計画】

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するため、以下の環境への取組を行います。
  - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努め、燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (3) 節水に努め、水使用量を削減する。
  - (4) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
  - (5) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材の可能な限り再生品を使用する。
  - (6) 工事現場で使用する薬剤の適正管理を行う。
  - (7) 環境に配慮した施工を行う。
2. 当社の事業活動において、関連する環境関連法規を遵守する。
3. 環境方針に対する環境活動目標、環境活動計画を全従業員に周知する。
4. 環境保全活動の積極的な実施により、地域の環境保全に貢献する。
5. 環境活動レポートを作成して公表することで、環境コミュニケーションを推進する。

改定日：令和 元年 7月 1日

福岡道路 株式会社

代表取締役 洞 孝道

## 4.環境経営目標

活動期間：令和元年7月～令和2年6月

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標				
			H30年度	令和元年度 ( 1%削減 )	令和2年度 ( 2%削減 )	令和3年度 ( 3%削減 )	令和4年度 ( 4%削減 )	
			H30年7月 ～R元年6月	R元年9月 ～R2年6月	R2年7月 ～R3年6月	R3年7月 ～R4年6月	R4年7月 ～R5年6月	
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	53,663	53,125	52,590	52,054	51,516	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	事務所	kg-CO2	24,476	24,231	23,987	23,742	23,496	
①電気使用量の削減		kWh	8,787	8,698	8,612	8,524	8,436	
②ガソリン使用量の削減		ℓ	8,790	8,702	8,615	8,526	8,437	
③軽油使用量の削減		ℓ	0	0	0	0	0	
(2) 二酸化炭素排出量の削減	現場	kg-CO2	29,187	28,894	28,603	28,312	28,020	
①電気使用量の削減		KWh	9,766	9,668	9,568	9,473	9,377	
②ガソリン使用量の削減		ℓ	5,656	5,600	5,542	5,787	5,431	
③軽油使用量の削減		ℓ	4,275	4,233	4,191	4,146	4,103	
2	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	190	188	186	184	182
	②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	99.5	99	99	99	99
3	水使用量の削減(節水)	事務所	m3	80.0	79	78	78	77
4	環境に配慮した施工	現場	件	—	事故ゼロ 手戻りゼロ	事故ゼロ 手戻りゼロ	事故ゼロ 手戻りゼロ	事故ゼロ 手戻りゼロ

※二酸化炭素排出量は平成29年度九州電力の実排出係数0.463 kg-CO2/kwhで計算している。

※有害化学物質の取り扱いはありません

※グリーン購入の推進(資材)は、再生材使用可能時の、再生材の割合とする。

※一般廃棄物排出量削減、グリーン購入の推進(事務用品)の基準年は平成27年度とする。

## 5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
電気使用量削減	エアコンの設定温度を定め実行する	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	昼休みの消灯運動						
	帰宅時のパソコンの電源を切る						
	エアコンの設定温度を定め実行する	工事	工事現場 (現場代理人)				
	昼休みの消灯運動						
	帰宅時のパソコンの電源を切る						
ガソリン・軽油使用量削減	エコドライブの推進	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	エコドライブの推進	現場	工事現場 (現場代理人)				
	不必要なアイドリングをしない						

### 2. 廃棄物排出量の削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
一般廃棄物	書類のペーパーレス化	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	コピー機の集約機能活用・裏紙使用の徹底						
産業廃棄物	無駄な廃棄資材の出ない注文を徹底する	現場	工事現場 (現場代理人)				
	処理の過程を確認し、再資源化に取り組んでいる適切な業者へ委託、処理する						

### 3. 水使用量削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
節水活動の推進		事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				

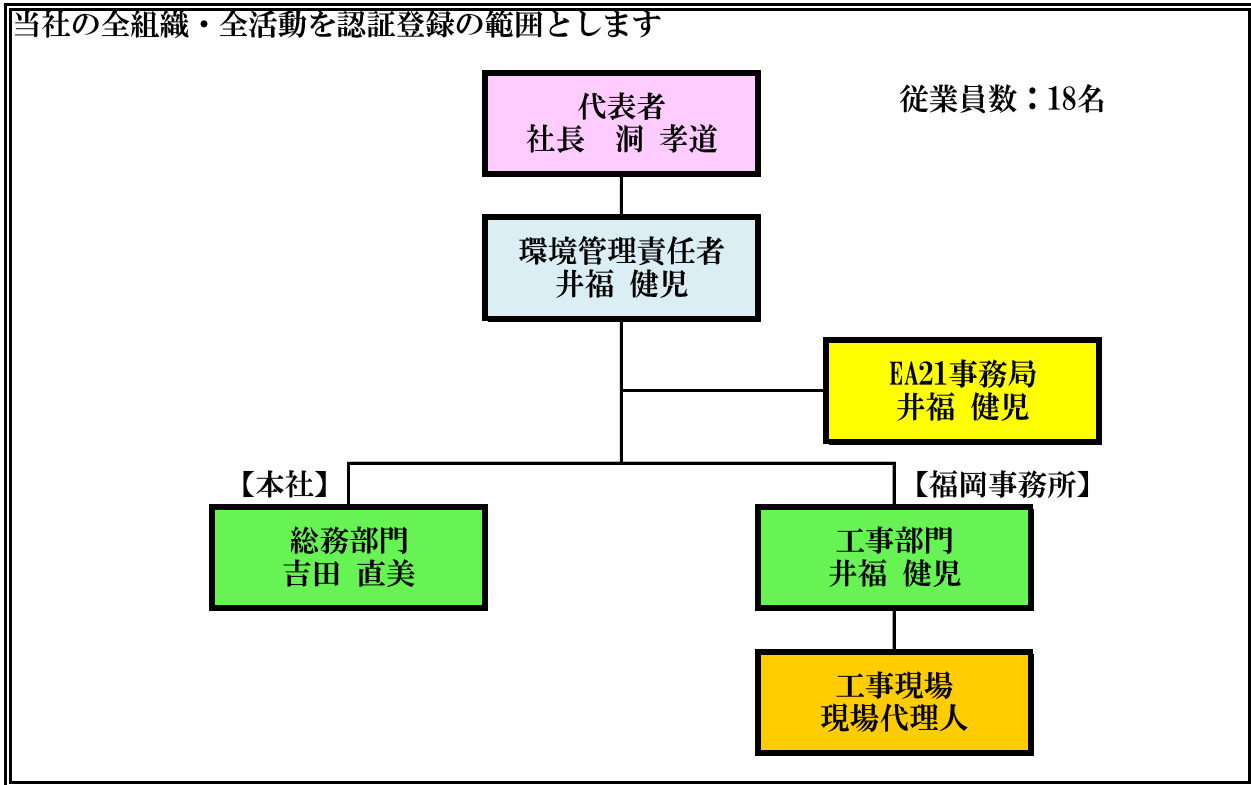
### 4. 環境に配慮した施工

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
事故ゼロ	KY活動、安全訓練、安全パトロールの充実	現場	工事現場 (現場代理人)				
手戻りゼロ	工程管理、日々の打合せの徹底						

### 5. 薬剤の適正管理

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
薬剤の適正管理	化学物質安全性データ管理シート(SDS)をメーカーのホームページからダウンロードし、万一の事態に備える	現場	工事現場 (現場代理人)				

6.実施体制



役割分担表

名称	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者として環境経営全般について責任と権限をもつ</li> <li>環境方針を作成・見直しを行い従業員へ周知させる</li> <li>環境管理責任者、EA21事務局員（担当者）を任命する</li> <li>環境への取組を実施するための資源を準備する</li> <li>EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21ガイドラインの要求事項満たす環境経営システムを構築し、実行し環境実績を向上させる</li> <li>毎年、環境目標、環境活動計画を作成する</li> <li>3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認、評価する</li> <li>上記の結果を代表者に報告する</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、EA21文書及びデータの作成・維持・集計・管理を行う</li> <li>社外からの環境情報の収集と伝達を行う</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標達成のため責任をもって事業所の環境活動を推進する</li> <li>事業所で発生した問題点の是正・予防措置を実施する</li> <li>関連する法規制等を確認し遵守する</li> <li>事業所に関連する緊急事態への準備・対応の訓練を実施する</li> <li>事業所の教育・訓練を実施する</li> </ul>
現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した機械の使用、工法に取り組む</li> <li>地域の環境活動へ積極的に参加する</li> <li>協力会社への周知を徹底する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と、環境への取組の重要性を自覚する</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する</li> </ul>

## 6.取組状況の確認及び評価

### 6-1.環境経営目標の実績・取組結果とその評価

活動期間：令和元年7月～令和2年6月

環境目標	サイト区分	単位	基準年 (H30年度)	令和元年度（令和元年7月～令和2年6月）				
				目標	実績	差異	評価	結果の評価
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO <sub>2</sub>	53,663	53,125	49,350	-3,775	○	目標達成
(1) 二酸化炭素排出量の削減	事務所	kg-CO <sub>2</sub>	24,476	24,231	22,126	-2,105	○	目標達成
①電気使用量の削減		kWh	8,787	8,698	7,915	-783	○	目標達成
②ガソリン使用量の削減		ℓ	8,790	8,702	7,954	-748	○	
③軽油使用量の削減		ℓ	0	0	0	0	○	
(2) 二酸化炭素排出量の削減	現場	kg-CO <sub>2</sub>	29,187	28,894	27,224	-1,670	○	目標達成
①電気使用量の削減		KWh	9,766	9,668	8,254	-1,414	○	軽油使用量については、夏場に発電機を使用した現場事務所が2件あったことで、軽油使用量の削減が未達成となった。
②ガソリン使用量の削減		ℓ	5,656	5,600	4,110	-1,490	○	
③軽油使用量の削減		ℓ	4,275	4,233	5,094	861	×	
2 ①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	190	188	156	-32	○	目標達成
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	100	99	100	1.0	○	
3 総排水量の削減（節水）	事務所	m <sup>3</sup>	80	79	80.5	1.5	△	工事で水道水を多く使用した為、未達成となった。
4 環境に配慮した施工	現場	件	—	事故ゼロ	0	0	○	目標達成
				手戻りゼロ	0	0	○	

※二酸化炭素排出量は平成29年度九州電力の実排出係数0.463kg-CO<sub>2</sub>/kWhで計算している。

※有害化学物質の取り扱いはありません

※グリーン購入の推進(事務商品)は、購入する事務用品の内、グリーン商品の割合とする。(金額ベース)

※グリーン購入の推進(資材)は、再生材使用可能時の、再生材の割合とする。



## 6-2.環境経営計画の実績・取組結果とその評価

### 1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目		区分	実施状況	今回の評価
電気使用量削減	エアコンの設定温度を定め実行する	事務所	○	全体的に実施できている。今後は、照明のLED化に取り組んでいく。
	昼休みの消灯運動		○	
	帰宅時はパソコンの電源を切る		○	
	エアコンの設定温度を定め実行する	現場	○	
	昼休みの消灯運動		△	
	帰宅時はパソコンの電源を切る		○	
ガソリン軽油使用量削減	エコドライブの推進	事務所	○	全体的に実施できている。今後も継続していく。
	エコドライブの推進	現場	○	
	不必要なアイドリングをしない	現場	○	

#### 取組内容 (写真)



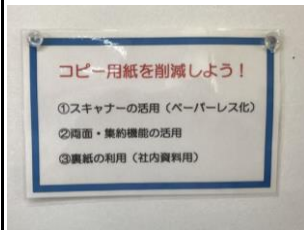
節電・エアコン温度(入口・スイッチ)

エコドライブ10(鍵置場・車内)

### 2.廃棄物排出量の削減

活動項目		区分	実施状況	今回の評価
一般廃棄物	書類のペーパーレス化	事務所	○	廃棄物の減量化を意識して実行できている
	コピー機の集約機能活用・裏紙使用の徹底		○	
産業廃棄物	無駄な廃棄資材の出ない注文を徹底する	現場	○	可能な限り再生処理施設で処理できている。
	処理の過程を確認し、再資源化に取り組んでいる適切な業者へ委託、処理する		○	

#### 取組内容 (写真)



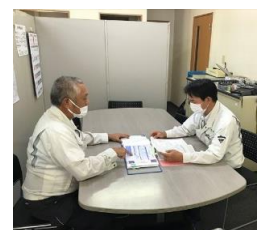
コピー用紙削減ラベル貼付



裏紙置場



ゴミの分別処理



産廃処理委託契約

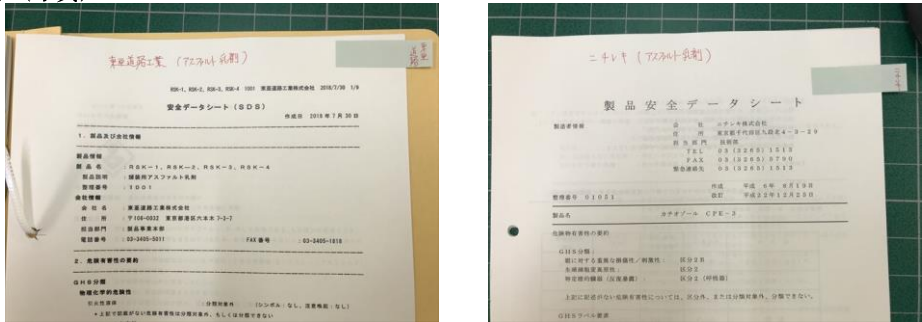
### 3. 水使用量削減

活動項目	区分	実施状況	今回の評価
節水活動の推進	事務所	○	節水活動を意識して実行できている
取組内容 (写真)  節水シール貼付け			

### 4. 環境に配慮した施工

活動項目	区分	実施状況	今回の評価
事故ゼロ	現場	○	日々の安全活動、打ち合わせなどは、良く出来ている。
手戻りゼロ		○	
取組内容 (写真)  安全パトロール状況			

### 5. 薬剤の適正管理

活動項目	区分	実施状況	今回の評価
薬剤の適正管理	現場	○	現場に保管することはないが、アスファルト乳剤は必ず使用する為、SDSは現場に備えている。
取組内容 (写真)  SDS(アスファルト乳剤)			

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

6-3. 次年度の環境経営計画

(環境経営目標はP-5参照)

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
電気使用量削減	エアコンの設定温度を定め実行する	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	昼休みの消灯運動						
	帰宅時のパソコンの電源を切る						
	照明のLED化						
	エアコンの設定温度を定め実行する	工事	工事現場 (現場代理人)				
	昼休みの消灯運動						
帰宅時のパソコンの電源を切る							
ガソリン・軽油使用量削減	エコドライブの推進	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	エコドライブの推進	現場	工事現場 (現場代理人)				
	不必要なアイドリングをしない						

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
一般廃棄物	書類のペーパーレス化	事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				
	コピー機の集約機能活用・裏紙使用の徹底						
産業廃棄物	無駄な廃棄資材の出ない注文を徹底する	現場	工事現場 (現場代理人)				
	処理の過程を確認し、再資源化に取り組んでいる適切な業者へ委託、処理する						

3. 水使用量削減

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
節水活動の推進		事務所	総務部門(吉田) 工事部門(井福)				

4. 環境に配慮した施工

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
事故ゼロ	KY活動、安全訓練、安全パトロールの充実	現場	工事現場 (現場代理人)				
手戻りゼロ				工程管理、日々の打合せの徹底			

5. 薬剤の適正管理

活動項目		区分	部門(責任者)	スケジュール			
				7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
薬剤の適正管理	化学物質安全性データ管理シート(SDS)をメーカーのホームページからダウンロードし、万一の事態に備える	現場	工事現場 (現場代理人)				

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 （廃棄物処理法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	対象工事の届出、再生資源化の実施、実施の報告
オフロード法	規制適合車の使用
フロン排出抑制法	業務用エアコンの定期点検

令和2年7月20日に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

（全体評価）

今期完成工事高も大きく伸びた中、環境経営目標及び環境経営計画もほぼ達成出来、又環境関連法規の違反もなく、経営環境システムは有効に機能している。

（見直し結果）

可能な限り最新のソーラー式発電、蓄電設備の現場事務所への導入については、性能面、費用面での問題で導入は出来なかったが、現場における安全設備においてはほぼ100%導入出来ており、引き続き取組努力を行うとともに、現在のコロナ禍での感染防止対策も踏まえた計画が必要であると思われる。